

## 平成27年度 警察本部補正予算(一般会計)要求の概要

(単位:千円)

補正要求額	27年度累計額	26年度当初予算額	増減額	増減率
275,513	25,976,044	26,714,539	△ 738,495	△ 2.8%

### I 要求のポイント

#### 1 安全・安心な暮らしの確立

##### 【基本方針】

「日本一安全な大分」の実現に向けて、犯罪の起きにくい社会づくり、交通死亡事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙及び危機管理機能・警察基盤の充実強化などの取組を推進します。

##### (1) 犯罪に強い地域社会の形成

危機管理機能・警察基盤の充実強化のため、老朽化した大分東警察署の建替及び科学捜査の高度化を図るための鑑識科学センターの庁舎建設に向けた取組を推進します。

また、多発する振り込め詐欺などの特殊詐欺被害から高齢者等を守るため、タイムリーできめ細かな注意喚起情報を発信します。

加えて、子ども・女性等を犯罪から守る安全・安心なまちづくりのため、犯罪多発地域を中心に街頭防犯カメラの整備を引き続き推進します。

##### (2) 安全で快適な交通社会の実現

交通の安全と円滑を確保するため、信号機等の交通安全施設の整備を推進します。

また、交通事故死者数の半数を占める高齢者の事故防止を図るため、参加体験型講習による高齢者の交通安全教育を行うほか、高齢歩行者の事故多発地域を中心とした高齢者宅への訪問活動や街頭啓発活動を推進します。

### II 事業体系 (県政推進指針)

#### 【安心・活力・発展の大分県づくりの推進】

##### 1 安心 ー互いに助け合い、支え合う安心・安全の大分県ー

##### (6) 安全・安心な暮らしの確立

##### ① 犯罪に強い地域社会の形成

	当初予算額	補正要求額	累計額
— 新 鑑識科学センター整備事業		24,718	24,718
— 大分東警察署整備事業	287,580		287,580
— 特殊詐欺被害防止総合対策事業	18,822		18,822
— 街頭防犯カメラ設置促進事業	5,000		5,000

##### ② 安全で快適な交通社会の実現

— 新 ほっと安心高齢者お出かけサポート事業		33,476	33,476
— 高齢者交通事故防止対策推進事業	2,114		2,114
— 交通安全施設整備費	605,233	217,319	822,552

(注) 事業名前の「新」は新規事業を示す。

平成27年度警察本部補正予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail: a61100@pref.oita.jp(警察本部会計課)

## 平成27年度 補正予算（一般会計）要求の主な事業概要

(部局名：警察本部)

(単位：千円)

事業名	平成27年度 補正要求額 ＜累計額＞ (前年度当初)	事業概要	所管課
1 特 鑑識科学センター整備事業	24,718 ＜24,718＞ (0)	科学捜査研究所は、狭隘で拡張性に乏しく、新たな機器導入への対応が困難なことから、科学捜査のさらなる高度化に対応するため鑑識課と一体となった鑑識科学センターの建設に着手する。	警務課
2 特 ほっと安心高齢者お出かけサポート事業	33,476 ＜33,476＞ (0)	高齢者の交通事故防止を図るため、歩行者事故が多発する地域の高齢者宅を中心に訪問アドバイスを行う。また、事故が多発する時間、場所において保護・誘導、反射材の配付及び着用の呼びかけを行う。	交通企画課
3 交通安全施設整備費	217,319 ＜822,552＞ (842,373)	道路交通の円滑化を図り、安全を確保するため、信号機や道路標識など交通安全施設の整備を行う。	交通規制課

※(特)は「おおいた地方創生枠事業」